



龍門滝



広報

かじき

人口・世帯の動き

(平成6年4月1日現在)

総人口23,262人(△175)	出生 12人
男 10,854人(△102)	死亡 22人
女 12,408人(△73)	転入 334人
世帯数 8,432 (△60)	転出 499人

●()内は前月との比較●

宇都宮町長

城ノ坂

鈍い地鳴り音を残し、城ノ坂の崖が崩落した。落ちたのは一部だが、舞い上がった砂煙がそのすごさを物語った。

山にすれば、ちよつと背中をひつかいたような微々たる動きなのだろうが、大地をアリのようにはいつまでも人間にとつては、それは大きな脅威となるのだ。—— 大地よ、運動はもつとお手柔らかに願いたい。昨年の豪雨の後

遺症は、まだ郡内いたる所でうずいて、行政はその手当てに大わらわなのだから……。さて、応急処置は一応すんだが、生々しく傷痕をさらけた山肌は無気味だ。闇にひそむ怪物のように、じつと虚空をにらんだままである。



大地をふるわせ、砂煙をあげて落ちた岩

平成6年

5

月号

今月のページ

☆エースの城後援会発足……2ページ ☆さえずりの森……3ページ
 ☆あわや大惨事……4ページ ☆過疎化に歯止めを……5ページ
 ☆老人保健福祉計画を公表……6～11ページ
 ☆行政連絡員……12ページ ☆町税務表彰式……13ページ
 ☆図書館から……14ページ ☆加治木文化財ウォッチング……15ページ
 ☆おしらせ……16ページ

“エースの城”

(城 彰二選手)



後

援

会

が発足!

六月十八日に結成総会

城選手も出席

“エースの城”こと、Jリーグ

のスーパーリーグ・城彰二選手

(ジェフ市原)の後援会が、いよ

いよ地元加治木町で結成されるこ

とになり、後援会設立のための準

備委員会が五月九日、関係者二十

人が参加して加治木町役場で開催

されました。

後援会の結成総会は、城選手の

誕生日の六月十七日をメドに検討

されましたが、城選手があくる日

に帰加することから、六月十八日

(土曜日)に決定されました。

会員は、加治木町を中心に始良

郡西部・北部・東部の代表を立て

て郡内の広い範囲を対象に、当初

の目標を千五百人ほどに設定し、

後援会結成に向けてこれから加入

の輪を広げていきます。

近く、みなさんの職場やご家庭

に勧誘に回りますので、よろしく

お願いいたします。

加入要綱は、次のとおりです。

□後援会名

エースの城

(城彰二選手) 後援会

□設立準備委員会事務局

加治木町役場体育保健課内

□会費

★一般会員(18歳以上)

三千元

内訳(入会費一千元)

(年会費二千元)

★ジュニア会員(18歳未満)

一千元

内訳(入会費五百円)

(年会費五百円)

※ただし、ジュニア会員は保

護者の同意が必要ですので、

保護者が申し込んでください。

□結成総会および激励会

6月18日(土曜日)

○サッカー教室、サイン会

場所 加治木小学校グラウンド

時間 午後1時30分

○結成総会

場所 町営体育館

時間 午後6時30分

○激励会

場所 町営体育館

時間 午後7時

※激励会参加者は、後援会々

費とは別途に会員二千元、会

員外三千元をいただきます。

ただし、ジュニア会員は激

励会には出席できません。

□加入手続き

設立準備委員会のメンバーが勧

誘に回りますが、役場体育保健課

でも受け付けます。くわしいこと

は、加治木町役場体育保健課まで

お問い合わせください。

☎六二二二二二

(内線三〇・三二)



▼困ったも
のである。

ふれあい物

産館の入口に

身障用のトイレ

レが建っている

が、朝方見

ると、いつもタバコの吸いがら

や空きカンが散らかっている。

ひどいときは、壁や床の隙間

にタバコの吸いがらをねじ込ん

だり、窓ガラスを割ったり、便

器まで壊していることもある。

公共物を壊すと、器物破損の罪

に問われることになるのだ。

おまけに身障用ときは黙って

いるわけにはいかない。空きカ

ンやタバコの吸いがらで車イス

が前に進めなかったり、中に人

が何人も入るので入れないとい

う人もいた。

学生だとは言いがたいが、

見ている人の目は多いのだ。お

まわりさんに頼んで、ふれあい

物産館の周りも巡回してもら

が、その前にすぐやめてほしい

と願う。

▼公園や公衆便所、公民館や

体育館など、町や国、県の公共

施設が町内にたくさんあるが、

なかでも便所が一番汚されてい

るようだ。

公衆便所のありがたさは、す

わっ!、といった切羽詰まった

とき、みんな体験しているはず

だが、人目のない孤独な所でも

あるため、用がすむとイタズラ

心で返礼する者もいる。そこに

人柄がでてしまうのだが……。

身障用トイレを汚すのはヤメテ!

ふれあい物産館入口

ほしいものだ。粗略にあつかう
と、そのしつぺ返しは必ず倍に
なって返ってくるものだ。

ということは、善悪を抜きに

考えても、自分のしたことはす

べて自分にその責任が返ってく

るということである。それが人

の世の常であり、定めでもある

のだ。また、自分に恥じない行

動というものは、自分でも自覚

できるものだ。「私はそんな立

派な人間ではない」と尻込みす

るよりも、正々堂々と胸を張っ

て良識ある判断をしてほしい。

それが勇気ある人間というもの

ではないだろうか。



総合案内施設

今 森のずえさ

来春4月をメドに

急ピッチで整備中

今、「さえずりの森」は来春四月をメドに、急ピッチで整備が進められています。

閑静な森とすばらしい宇曾ノ木溪谷の景観をベースにした、キャンプ場を中心とする休養施設で、龍門滝から歴史の匂う竜門司坂をのぼり、さえずりの森を経由してかじかの橋を渡り、遊歩道で高岡公園まで行くハイキングコースにもなっています。

かじかの橋のたもとにある総合案内所は、木造二階建て、面積は約三百八平方メートルで、建物の外観はほぼ完成していますが、これから多目的ホールや食堂、浴室、トイレなどが整備されます。

そのほか、冷暖房やシャワー、トイレ、炊事場を備え、五人以上宿泊できるコテージが二棟、四、五人まで泊まれるバンガロー三棟が出来上がりつつあり、さらにミニバンガロー二十棟も建設されます。



コテージも完成

なかでも、総合案内施設やコテージ、バンガローなどの工事を急がせているのが、広場に下りる道の両側にずらりと並び、子どもたちの訪れを心待ちしている二十のミニバンガローで、この夏、キャンプ施設だけはモニター募集します。その後、利用者に話を聞いたリ、アンケートをとって来春四月オープンをめざします。

最後に道路網ですが、従来の竜門司坂からの曲がりくねった山道のほか、現在、毛上・提水流線からさえずりの森まで、直通の新設林道が工事中で、今年度いっぱい完成する見通しです。

現在、このあたりは工事中ですが、散策路は確保されています。みなさん、森林イオン層の濃い「さえずりの森」で、忘れかけていた自然とのスキンシップを家族とともに味わってみませんか。

来春をお楽しみに！

この夏 モニター募集！

「さえずりの森」キャンプ場

現在、整備が進んでいる「さえずりの森」キャンプ場をこの夏休み期間中、モニターに開放します。

記

一、募集対象

5月16日現在、町内に居住し、住民登録をしている者

二、募集期間

5月30日（月）
6月22日（水）

三、開放期間

7月23日（土）
8月28日（日）

（ただし、この間の土・日曜日のみ1泊2日・6回）
土曜日午後4時

四、開放施設・募集人員等

バンガロー（3～6人）3戸
コテージ（5～10人）2戸
ミニバンガロー（3～6人）20戸

五、費用負担

※保護者同伴を原則とし、子どもだけの申込みは不可。
シーツのクリーニング代等の実費負担。（入所時徴収）

六、その他

・寝具類、炊飯炊具は無料貸出。
・宿泊施設、シャワー施設、

七、申込み

役場経済課に応募カードがあります。

八、利用感想

利用者（モニター）は必ずアンケートに答えること。

九、利用の取消

台風接近等で使用できないと判断したときは、翌週に延ばさず取り消しとする。

※くわしいことは、役場経済課までお問い合わせください。

☎六二二二二一



道の両側にはミニバンガローを

あわや、大惨事！

城ノ坂のガケが一部崩落

住民二十世帯が避難

城ノ坂（県道栗野・加治木線）のガケの一部が五月七日十五時九分、高さ約十メートル、幅約十五メートルにわたり、ものすごい轟音とともに崩落。幸い、土砂や岩は防護壁の鉄柵を突き破ったところで止まり、建物に被害はありませんでした。

現場は、鹿児島空港の主要道路で、昨年八月の豪雨でも崩落した所。現在、復旧工事中でしたが、六日午後三時ごろ、地滑りによって生じたらしい大きな亀裂がタテに三十メートルほど走っているのが発見され、すぐ役場に通報されました。

そのため、町では大きな災害につながるかと判断、危険区域に立入り禁止のロープを張り巡らし、ガケ下の住民二十世帯五十七人に午後六時、避難勧告を発令。道路も全面交通止めになりました。

その夜のうちに、六世帯十三人が町保健センターに、そのほかの十四世帯四十四人は親せきなどに身を寄せましたが、保健センターに避難された方々は、ガケの崩落が気にかかって不安な夜を過ごしていました。



白い地肌が生々しい

避難勧告が解除されたのは、復旧作業が開始されてから六日目の十二日正午。そのあと、一週間を保健センターで過ごした六人の代表が役場を訪れ、「いろいろお世話になりました」と宇都宮町長と新納保健婦長に花束を贈呈。そのうちの一人、長老の岩崎薩夫さんは「みんなは大変だったでしょうと気づかってくれますが、役場のいたれりつくせりで、むしろ、われわれは楽しく過ごすごうができました。それも一週間というのがタイムリミットでしたがね」と、長かった保健センターでの思い出をしみじみと語っていました。県道が開通したのは十四日午前零時でした。



避難された方が花束を

避難勧告は

すみやかに

今回の災害は、全員が避難勧告に従ってくださったため、町としても安心して復旧作業ができました。ありがとうございます。

みなさん、天災は思いもかけないときにやってきます。その災害から逃れるには、行政の迅速な対応はもちろん、みなさんの打てば響く機敏な行動が大事なのです。

避難勧告が出されたら、すみやかに従いましょう。

ゴミとりサイクルの講演

町衛生協会総会

町衛生協会総会が五月十一日福祉センターで行われ、その席上、ゴミ減量システム研究家・通産省認定消費生活アドバイザーの松田美夜子さんを迎え、ゴミとりサイクルの講演会が開かれました。

講師の松田さんは、現在、厚生省生活環境審議会の廃棄物処理部会減量化・再利用専門委員会として活躍中で、これまでにリサイクル文化を訪ねて欧米諸国取材したり、全国の市町村を講演していらっしゃる方です。

講演では、松田さんがつぶさに見てきた国内外の行政の民情や住民の実態などを「身近なゴミとりサイクルとムダ使い」と題してOHPなどを使い、それを加治木町に置き換えて問題提起して熱演。



熱弁をふるって……

訪れた三百人あまりの人たちは、分かりやすく、実のある体験話に聞き入っていました。

交通安全の小旗を寄贈

大東京火災

「交通安全に役立ててください」と大東京火災の町田所長が三月二十一日、交通安全の小旗三百本を加治木町に寄贈されました。

この旗は、夜間に反射するため好評で、さっそく小学校や幼稚園などに配られました。



さっそく役立って

過疎化に歯止めを

出身者や地元以外の方にも呼びかけを

「過疎化による児童の減少に歯止めをかけるとともに、地域の活性化を図ろう」と、竜門小学校区では平成元年、「竜門小学校児童減少対策委員会」（現委員長・川原史郎さん・会員二十八人）を結成、委員長に歴代のPTA会長を立てて、様々な活動を展開してきました。

現在、竜門小学校区の児童は六十一人。委員会結成当時の平成元年の百一人を皮切りに、九十二人、九十四人、七十八人、六十六人、六十一人、五十三人（七年の見込み）とほぼ半分に減少している状況です。

このため、これまで地元出身者のアンケート調査をはじめ、空き家の調査や広報紙「りゅうもん」の発行（校区全戸に三回配布）、町営住宅誘致の陳情などを実施。加えて、六月五日に開催される「かじき龍門滝まつり」では、地区内外の方にパンフレット一万二千部を配布していきます。

現在、アンケート調査などで二十四人の方から竜門小学校区に住みたいという希望を取り付けていますが、何せ住む家がない

ため急に住宅問題が浮上、そのため目下、空き家の調査などを行っているところで、川原史郎委員長は「出身者のご協力を得ながら地域ぐるみで、児童の増加と地域の活性化という問題に対処していきたいと思っています。それには、ぜひとも町営住宅の建設を実現させたい」と熱意のほどを明かしてくれましたが、現実にはなかなか難しく、行政だけで片づけられない深刻

な問題になっています。また地元はもちろん、住んでいる人や故郷を後にした人たちの心をのぞかなければならなくなったり、自然に対する一人ひとりの思い入れなどにも関連してくるものです。

地域のみならず、これらを踏まえ、委員会と地域で一体となつて取り組み、腰をすえた粘り強い活動を展開してください。

地元の同窓生

が寄付

「竜門小学校児童減少対策委員会」にかけられた期待は大きく、その存続と活動資金にと、一月に山口幸男区長らの同窓生（六十九歳代）らが一万五千元を。さらに四月十日には、前田みづえさんらの四十一年度竜門中学校卒業生（四十二歳代）が八万円を寄付しました。



ありがとうございます

竜門小学校児童減少対策委員会

特大のまんじゅうで歓迎

町教職員就任式



ウーン、お腹いっぱい

町内の小・中学校に赴任された二十七人の先生方を歓迎する町教職員就任式が四月十五日、加治木中学校の体育館で行われました。式では、篠原教育長が「一校一自慢を目標に、特色ある学校づくりにがんばってください」などと式辞を述べた後、留岡教育委員長が加治木に親しんでもらおうと、加治木名産の龍門司焼を全員に贈呈しました。

すがに若い女の先生たちも「まあ……」と、言葉を飲んで啞然とした様子。「二年前、加治木小の下校長がペロリと二個平らげられました。みなさんもチャレンジしてください」と司会者がハッパをかけて、観念したようにみんなバクバクとかじり出しましたが、食っても食ってもなかなかアッコは現れませんでした。

さて、いよいよ特大の「加治木まんじゅう」の登場です。紅白（一個が普通の七個分）のまんじゅうがデンと目の前に姿を現すと、さ

もくもく合戦

6月19日(日)
福祉センター

お問い合わせは
経済課へ

加 治 木 町

老人保健福祉計画



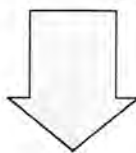
老人保健福祉計画とは？

国において策定された「高齢者保健福祉十か年戦略」は、平成2年度より、その推進に努めているところであり、各市町村においては、老人保健計画と老人福祉計画を統合し、一体化して定めることとなったものが「老人保健福祉計画」である。

本町においては、国の「高齢者保健福祉十か年戦略」及び県の施策、「加治木町総合振興計画」（平成3年度策定）をふまえ、本町における高齢者の保健福祉ニーズに基づいて策定したサービス実施の目標及び供給等に関する計画であり、総合的なサービス供給体制の確立をめざし策定したものである。本計画は、平成6年度（1994年度）を始期とし、平成11年度（2000年）を目標年次とする6か年計画であるが、高齢者をめぐる状況の変化に対応を期するため、計画の中間前後において、見直しを行なうものである。

基本理念

「加治木町老人保健福祉計画」は、高齢化が急速に進むことが予測される本町において、高齢者が生きがいのある、健康で安心できる生活を送ることができる社会を実現するため、健康・福祉の総合的サービスの供給により、在宅ケアと施設ケアの積極的かつ効果的な推進を図ることを基本理念として策定された。



基本方針

1. 当計画で実施する保健・福祉サービス利用促進のため、町民に対する広報活動、啓蒙活動を充実する。（広報・啓蒙）
2. 当計画を効果的かつ総合的に推進するための情報ネットワークの充実を図る。
（情報ネットワーク）
3. 本計画を実現する上で不可欠なマンパワーの確保、充実に向けての人材開発、活用を推進する。（人材開発、活用）
4. 本計画の推進にあたっては、町保健部門、福祉部門を中心とし、民間各関係機関、施設等との連携を十分に図る。（関係機関との連携）
5. 本計画で実施する保健・福祉サービスを高齢者にとって利用しやすいものとするため、利用者サイドに立った窓口体制をつくる。（利用容易性の確保）
6. 本計画で実施する保健・福祉サービスができるだけ多くの高齢者に利用され、なおかつ、一般町民の全面的な支援と理解、積極的な参画が得られるよう町の他の関連施策との整合性を図り、相乗効果を期す。（関連施策との相乗効果）

サービスの目標水準			サービスの目標量	サービス提供体制
寝たきり老人	痴呆性老人	虚弱老人		
ランクC 4回/週 ランクB 3回/週	3回/週	1.5回/週	年間 10,054人・回	ホームヘルパー 23人
ランクC 2回/週 ランクB 2.5回/週	3回/週	1回/週	年間 8,552人・回	デイサービスセンター 2か所 中学校区単位を基本に整備
6回/年	6回/年	2回/年	年間 1,529人・回	10床、特別養護老人ホームに確保を図る。
毎日 (単身世帯) (高齢者夫婦世帯)		週5日 (単身のみ)	年間 7,605食 (146食×52週)	官民からなる事業体の組織、もしくは委託方式の導入
2回/月	—	—	年間 576回 24人×2回×12月	現状のマンパワーで対応
2回/週 (6か月間)	2回/週 (6か月間)	2回/週 (6か月間)	年間 3,549回	公共施設の活用、医療機関との連携
12回/年	—	9回/年	年間 773回	現状のマンパワーで対応可能
—	3回/年	—	年間 126回	現状のマンパワーで対応可能
2回/週	1回/週	1回/週	年間 5,607回	必要看護婦数 12.5人
1回/年	—	1回/年	年間 78回	現状のマンパワーで対応可能
1回/年	—	1回/年	年間 78回	現状のマンパワーで対応可能
一般 31回 重点 31回		一般 50回 重点 51回		内容の充実
一般 150回 重点 26回		一般 221回 重点 41回		相談体制の充実
基本健康診査受診率	50%	対象者 5,648人 受診目標 2,824人		受診率向上施策の推進
各種がん健康診査受診率	30%	対象者 28,770人 受診目標 8,630人		受診率向上施策の推進
老人人口の1%程度入所		入所者数 100人		1か所
中学校区に1か所を基本とする		1か所		デイサービスセンター新設に対応した機能面の充実を図る
定員は老人人口の0.5%程度				広域保健福祉圏域の中で調整を図る。
		1か所		現施設を活用する
老人人口の1%程度入所		入所者数 66人		1か所

サービス目標量

サービスの種類	現況
ホームヘルプサービス	常勤 5人、非常勤 4人
デイサービス	年間 延 7,752人 (H4年度)、1か所
ショートステイ	年間 延 36人 (延 370日) (H4年度) 6床 (現 8床)
給食サービス	利用人数 57人 (H4年度) 週 1回
入浴サービス	年間 延 26人 (延 232回) (H4年度)
機能訓練	年間 延 2,364人 (H4年度) 保健センター、健康トレーニングセンター
訪問指導	年間 延 1,370人
痴呆性老人訪問指導	—
訪問看護	—
訪問口腔衛生指導	—
訪問栄養指導	—
健康教育	一般 50回 (H4年度) 重点 51回
健康相談	一般 221回 (H4年度) 重点 41回
健康診査	受診率 47.6%、受診者 2,281人
	受診率 17.1% (胃がん) (H4年度)
特別養護老人ホーム	1か所、定員 130人
在宅介護支援センター	1か所
ケアハウス	なし (軽費老人ホーム定員 50人)
保健センター	1か所
老人保健施設	1か所、定員 96人

①デイサービスセンターの新設 (既存1か所、新設1か所)	④特別養護老人ホーム(現状対応)	⑧町保健センターの活用促進
②ショートステイベッド数増床	⑤老人保健施設(現状対応)	⑨老人訪問看護ステーションの検討
③在宅介護支援センターの機能充実	⑥ケアハウス(広域圏域内調整)	⑩老人性痴呆疾患センター(現状対応)
	⑦シルバーハウジング整備検討	⑪町福祉センターの活用促進
①ホームヘルパーの段階的増員及び研修等の活用による質的充実	④機能訓練事業等従事者(理学療法士、作業療法士、言語療法士)の確保	⑥新設予定施設(デイサービスセンター等)については、関係各機関との連携によりマンパワー確保
②保健婦の増員	⑤在宅介護支援センターのマンパワーは現状体制を保持、質的充実	⑦長期的展望に立ったマンパワー確保支援策の実施
③看護婦は、訪問看護ステーションの設置に応じた既存医療機関等の協力のもとに確保		
①相談窓口の充実(総合性、多様性、対象の広範化等ニーズへの対応)	③手続きの簡素化(利用券方式拡充、権限賦与、書類等発行システム化等)	⑤医療機関及び老人保健施設からの情報提供の活用
②広報の充実(広報量増大、イベント型広報、クチコミ重視、体験型広報等)	④住民組織の活用	
①地域福祉システム整備	④保健、福祉係課部局の連携強化	⑦「痴呆」理解促進のための連携強化
②高齢者サービス調整チームの充実	⑤国民健康保険、老人保健係課部局の連携強化	⑧健康体操普及事業との連携強化
③高齢者ニーズ情報収集ネットワークの拡充	⑥訪問指導、訪問看護の連携	⑨シルバーハウジング関連方面との連携強化
①医師会(入退院と施設入所等、入所判定委員会等)	④老人クラブ(高齢者の社会参加、生きがい創出等)	
②社会福祉協議会(保健福祉サービス提供業務委託等)	⑤自治会等(地域における要援護老人の支援等)	
③福祉ボランティア団体(ボランティアセンター加盟団体等)	⑥企業ボランティア(今後、地元企業を中心に協力を得る)	
①社会福祉協議会におけるボランティア活動の育成、組織強化、財政基盤促進により支援を行う		
①組織等の助長にあたっては、町老人クラブ連合会の諸活動を支援する諸施策を検討、実施する		
①高齢者生きがい促進総合事業の拡充(高齢者学級の推進、生涯学習推進大会の開催、世代間交流事業の推進等)		
②各種講座、教室、教養講座、文化講演会、スポーツ大会等的高齢者が参加できる事業の充実		
③県の関連事業との連携(すこやか長寿社会運動推進センター、長寿社会づくり推進パイロット事業、かごしま県民大学等)		
①今後の高齢者に関する求人、求職状況を考慮し、シルバー人材センター、高齢者による事業団等の具体的高齢者就労促進施策を検討する		
①「(仮称)町文化会館」(平成8年度オープン予定)との機能分担を考慮しながら、老人福祉センター、老人憩いの家等の設置を検討する。		
①寝たきり防止の意識の啓蒙を学習の場で行う	④訪問看護、訪問リハビリテーションの実施体制の確立	
②健康診査等結果に応じた予防、相談等の推進	⑤脳卒中情報システム活用による早期訪問指導の充実	
③機能訓練等リハビリテーション機能の強化		
①「加治木町総合振興計画」(平成3年策定)の体系にのっとり、シルバーハウジングプロジェクト等を計画的に推進する。		
①高齢者住宅の斡旋、建築、リフォーム等に必要な融資制度の活用	③訪問給食サービスの充実(毎日体制への転換)	
②介護機器等給付事業推進体制の充実	④ADL(日常生活に必要な動作能力)の維持、回復支援施策の充実	
①高齢者サービス調整会議を中心とした協議を重ねながら、シンバーサービスの育成を図る		
①現在実施中の諸事業を継続実施するとともに、今後、必要に応じて新規事業を付加していく		



施策の展開 (施策の方向と体系)

1. サービス供給体制の確保策

(1) サービスを提供する施設の確保

(2) 保健福祉の人材の育成、確保

(3) サービス利用を容易にする方策

2. 保健福祉の環境整備

(1) 保健・医療・福祉の連携

(2) 関係団体との連携

(3) ボランティア等民間団体への支援

3. 高齢者の社会参加・生きがい対策の推進

(1) 老人クラブ等組織の助長

(2) 高齢者の生きがい対策

(3) 高齢者の就労促進

(4) 施設整備

4. その他の施策

(1) 寝たきり老人ゼロ運動の推進

(2) 高齢者のための住みやすい福祉とまちづくり

(3) 在宅介護支援施策

(4) シルバーサービス

(5) 単独事業

よろしくお願ひします

行政連絡員辞令交付式

町民と行政の橋渡しをお願いする行政連絡員百十九人の辞令交付式が四月十九日福祉センターで行われ、みなを代表して日木山黒川の川崎修三さんに宇都宮町長から辞令が手渡されました。

また長年、行政連絡員として町政および自治会発展のために尽力され、このたび退かれた四人のかたがたに表彰状が贈られました。

〔被表彰者〕

撰正敦さん（日木山団地）▽松田弘治さん（上浜）▽今中清一郎さん（柳田）▽中元邦夫さん（岩原西）



「くろさまでした」

平成6年度行政連絡員名簿

（世帯数は4月1日現在）

地区名	自治会名	行政連絡員名	世帯数	地区名	自治会名	行政連絡員名	世帯数
城東第1 (世帯数) 687	日木山黒川	川崎修三	40	木田第1 (世帯数) 403	高井田	猪目進	203
	日木山団地	市成光男	53		春日団地	岩下ちづ子	128
	吉原	鶴田勝男	295		空港団地	久保祐鉄	72
	吉原	鶴田幸一	68	木田第2 (世帯数) 5743	新西ノ	久保本祐	51
城東第2 (世帯数) 439	東下里	田岩西	140		新西ノ	楠林本	52
	里ノ	三浦トシ子	18		福良東	森田角村	132
	里ノ	三浦スズ子	73		福良東	森田角村	33
城南 (世帯数) 801	天東西小	神訪陣	130	木田第3 (世帯数) 757	小赤原中	鳥坂門央	72
	天東西小	神訪陣	120		小赤原中	鳥坂門央	188
	天東西小	神訪陣	116		小赤原中	鳥坂門央	192
	天東西小	神訪陣	73		小赤原中	鳥坂門央	198
城西 (世帯数) 646	新垂江上中下	森山悦子	44	永原 (世帯数) 340	永丸隈隈市上下	原岡上下々	73
	新垂江上中下	森山悦子	115		永丸隈隈市上下	原岡上下々	12
	新垂江上中下	森山悦子	117		永丸隈隈市上下	原岡上下々	29
	新垂江上中下	森山悦子	59		永丸隈隈市上下	原岡上下々	19
城北 (世帯数) 862	浦生田(1)	福山龍隆	7	川辺 (世帯数) 94	川辺川	下中原野	5
	浦生田(2)	福山龍隆	19		川辺川	下中原野	24
	浦生田(3)	福山龍隆	102		川辺川	下中原野	12
	浦生田(4)	福山龍隆	25	竜門東元 (世帯数) 181	布井高岩徳小迫迫御	越崎口永倉上下山	51
中野 (世帯数) 93	昆沙門町	船濱上辰	26		布井高岩徳小迫迫御	越崎口永倉上下山	21
	昆沙門町	船濱上辰	94		布井高岩徳小迫迫御	越崎口永倉上下山	13
	昆沙門町	船濱上辰	72		布井高岩徳小迫迫御	越崎口永倉上下山	15
錦江第1 (世帯数) 584	柳於新田竹	野田山山平	200	竜門西元 (世帯数) 138	毛茶伊	上野野	12
	柳於新田竹	野田山山平	125		毛茶伊	上野野	80
	柳於新田竹	野田山山平	46		毛茶伊	上野野	22
	柳於新田竹	野田山山平	180		毛茶伊	上野野	24
錦江第2 (世帯数) 629	反土前後原	東松新岩高佐柚荒花高福	34	竜門西浦 (世帯数) 124	石鞍永下上赤西地	野掛山木谷西里	16
	反土前後原	東松新岩高佐柚荒花高福	74		石鞍永下上赤西地	野掛山木谷西里	14
	反土前後原	東松新岩高佐柚荒花高福	24		石鞍永下上赤西地	野掛山木谷西里	11
	反土前後原	東松新岩高佐柚荒花高福	9		石鞍永下上赤西地	野掛山木谷西里	18
錦江第3 (世帯数) 526	口内川蔵王団地(1)	田原武田丸訪	40	竜門東浦 (世帯数) 115	上川市新宮	内内原開平	11
	口内川蔵王団地(2)	田原武田丸訪	102		上川市新宮	内内原開平	46
	口内川蔵王団地(3)	田原武田丸訪	135		上川市新宮	内内原開平	14
	口内川蔵王団地(4)	田原武田丸訪	23		上川市新宮	内内原開平	22

（自治会数 → 119）

（自治会加入世帯 → 7,992世帯）

納税組合長らを表彰

町税務表彰式

平成五年度分税務表彰式が四月十九日福祉センターで行われ、長年納税組合長をつとめられた松田弘治さんら六人と、高額納税納期内完納者五人のかたがたに、宇都宮町長から表彰状が手渡されました。

表彰された方々（敬称略）

松田弘治（上浜）▽鶴田榮（地久

里）▽大迫カミ（江湖）▽米増實

（小陣）▽濱田キヨ子（中浜）▽

佐藤隆雄（向江町）

【高額納税納期内完納者】

宅岐健二郎 諏訪町一八八

木村哲志 木田六五三

山野秀明 諏訪町一四四

竹下富三 錦江町四一

西 清文 本町二三三一二

ありがとうございました

金管バンド部育ての親
内田貢先生に記念品を

この四月の定期異動で徳之島町の亀津中学校に転勤が決まった元錦江小学校の内田貢先生に三月三十一日、宇都宮町長から教育功勞の感謝状が贈られました。

内田先生は、在職された七年間で錦江小の金管バンド部を全国レベルに育てあげ、その評価は九州でもピカ一。子どもたちと一緒に、なつて毎日遅くまで練習に励み、特に夏休みなどは毎日体育館で、練習、練習の連続でした。

先生は「私も音楽は続けていきます。またいつか、一緒に演奏できる日を楽しみにしています」と話していました。



ありがとうございました



伝達式に参加



おめでとうございます

平成六年度

「国税モニター」を決定

税務署では、国税に関する納税者の方々の意見、苦情等をモニターを通じて広くお聴きし、事務運営の改善、納税者サービスの向上など、税務運営上の参考とするとともに、モニターを通じて、幅広く納税者の方々に税に関する情報を提供し、税を正しく理解してもらうことを目的とした「国税モニター制度」を採用しています。



川原芳和さん

さい。
住所 加治木町木田一九七九一
氏名 川原芳和
電話 六三三〇八三

勲五等瑞宝章を受賞

林 敏 克 さん

春の叙勲で新富町の林敏克さん（七十三歳）が、勲五等瑞宝章を受賞されました。

林さんは、昭和五十一年に町商

現在、町商工会長、県商工会連合会副会長、県法人会連合会副会長の要職を努め、(株)林商店代表取締役。陸軍士官学校卒。

工会長に就任以来、加治木町商工会の発展のために尽力。平成三年から県商工会連合会の副会長も兼ね、県全体を含めた商工会の充実に貢献され、「今回の受賞は、会員のみならず、努力のたまものです。この機会に、商店街の活性化に取り組んでいきます」と受賞のよろこびを語っていました。



ヨイ戸のヒ
四月十日町内の建具屋さんらが
柅城小学校で奉仕

建具の日の「四月十日」、県の建具組合に加入している加治木地区の建具屋さん六人が、柅城小学校の奉仕作業に汗を流しました。

これは、三年前から県の組合で決めて奉仕しているもので、平成四年は町立図書館、五年は加治木望岳園に足を運んでいます。

この日は、取付けの悪くなったドアも、職人さんの手にかかり、見事に新品に变身。六人は「校長先生のいいねいなお礼が、わたしたちの励みになりました。これからも毎年続けていきます」と意気込んでいました。



ガタガタをなおして…

桐原先生と池田先生が受賞

県公衆衛生事業功労者

本町の桐原一夫先生（歯科医）と池田成夫先生（内科医）が、公衆衛生事業功労者として県公衆衛生協会から表彰され五月十一日、宇都宮町長から表彰状と記念品がそれぞれ伝達されました。

桐原先生と池田先生は、多年にわたって町保健事業の健診や母子保健指導に当たられ、本町の公衆衛生面に大きく貢献。他の先生方の模範となると認められました。



おめでとうございます

充実した新聞・雑誌コーナー

町立図書館

町立図書館では、これまで四紙の新聞と九種類の雑誌を購入し、町民のみなさまにご利用いただいていたが、四月から新たに新聞二紙、雑誌五紙が加わり、充実した新聞・雑誌コーナーとなりました。



☆新聞

朝日新聞
日本経済新聞
毎日新聞
西日本新聞
鹿児島新報

すてきな奥さん
月刊かごしま
Leap（リーブ）

☆雑誌

文藝春秋
プレジデント
すくすく赤ちゃん
暮しの手帖
ESSE（エッセ）
MORE（モア）
MEN' NON-NO
（メンズノンノ）
婦人公論
SAPO（サピオ）
manna messe
（マナメッセ）

労働安全衛生法に
基づく免許試験

労働安全衛生法に基づく各種免許試験が行われます。

① 試験の日時及び種類
八月二十四日（水）

第一種衛生管理者・第二種衛生管理者・クレーン運転士・移動式クレーン運転士・潜水士・発破技士・林業架線作業主任者

八月二十五日（木）

一級ボイラー技士・二級ボイラー技士（A）（B）・ボイラー整備士

② 試験場

鹿児島情報高等学校

鹿児島市上福元町四一八

☎〇九二一六八三二〇一

③ 試験手数料

七、六〇〇円

④ 受験申請書の受付期間

7月4日～13日

ボイラー関係

7月6日～15日

ただし、試験の種類ごとに申請書の提出先が異なりますので、詳細は九州安全衛生技術センターへ

福岡県久留米市

東合川5-9-3

☎〇九四二一四三三三八一



椋鳩十文学記念館に

点字本を寄贈

点字サークル「ふれあい」

点字サークル「ふれあい」の皆さんから、椋鳩十文学記念館に点字本の寄贈をいただきました。

椋鳩十全集に収めてある作品「片耳の大しか」「栗野岳の主」「大造じいさんとガン」「子ジカホシタロウ」など25篇の作品の点字本です。

点字サークル「ふれあい」の皆さん、ありがとうございます。

点字サークル「ふれあい」の会は田中地区お住いの月野木博さんを指導講師として、町福祉センターで開催されております。

五年ほど前、月野木さんが社会奉仕のお気持で自発的に点字講習会を開かれました。その後この講習の意義の大切さに基づき、町主催で開き、今年度で四年目になっており、現在受講者八名、年20回開催の予定です。

点字サークル「ふれあい」の名称は、「点字にふれる あいは love、愛」をあらわしています。

椋文学記念館では、開館以来可能なかぎり、椋鳩十及び椋文学に関する資料を収集し、入館者に提供しております。



貴重な本ができました

このような配慮をしながらもかねがね気にかかっていることは、身障の方々へどのような心配りをしなければならぬかという事です。

今回の点字本のご寄贈は、その意味において、たいへんありがたいことでした。

なお、椋鳩十全集は全部で26巻あり、今回ご寄贈いただいた25篇は、2巻に収められている作品ですので、全部そろえていただいたら、椋先生の作品の主なものが点字で読めることになります。

加治木文化財ウオッチング(17)

日本山石塔

日本山の里にあって、俗に山王様(おさどうさま)と呼ばれる日枝神社の前に、巨大な石塔が二基並んで建っています。これを日ごろ見なれた五輪塔や宝塔のイメージで実際に見てみると、その大きさには誰もが驚くことでしょう。そばにある説明板には、「鎌倉時代の石塔で九州では最高のものである」と書かれています。いったい誰が、何のためにここに建てたのでしょうか。



大きな石塔です

石塔は、現存する高さが二層余りで、四面に梵字が深く刻まれています。また、南側石塔には仁治三年(一二四二年)、北側石塔には寛元元年(一二四三年)の年号が記されています。

え加治木氏を名乗ったといえます。その後、加治木氏は二十一代、約五百年間にわたってこの地を領有、現在の加治木町の基底文化を築くことになりました。

じく右大臣の位を授かっています。このことから、島津氏や幕府が力のある豪族を抑えるために、官位をうまく利用したことがうかがえます。

この頃、この付近を治めていたのは加治木氏です。おそろくこのころに活躍した加治木氏八代親平の霊をとむらう夫婦墓か、九代恒平の弟信経(木田三郎)の夫婦墓ではないだろうかといわれています。

八代親平が活躍していた時代は、鎌倉幕府の支配体制が全国に浸透していったところで、島津氏が薩摩・大隅・日向の守護職に任ぜられ、地方の有力豪族が幕府体制下に組み込まれていったころでした。このころの様子を書いた古文書が少なく、わからないことが多い時代ですが、わずかに残された資料をひもとくと、八代親平が大隅国の検非違使や右大将の位にあったことが書かれており、九代恒平は同

また、八代親平は鹿兒島神宮に加治木の土地を寄進することを鎮西探題(太宰府)に申し出ていますが、木田地区と神宮の関係は、この時代までさかのぼるのでしょうか。

郷土誌によると、加治木氏のもとと大蔵氏と称し、数代郡司として加治木を統治していましたが、関白藤原家より婿を迎

この日本山石塔の近くに、加治木氏がほろんだ後、この地を領有した肝付氏の墓があります。が、比べてみてください。その大きさに、当時の加治木氏の勢力が想像できると思います。



親子映画鑑賞会

6月の映画はお休みし、口演童話を催します。

場所 樟鳩十文学記念館
日時 6月19日(日) 10時

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。故人のごめい福をお祈りいたします。(一)内は故人

町育英奨学資金へ

二万円 小陣 荒武セイ(夫満衛 八七)
三万円 中野 前原清則(母 キノ 三三)
二十万円 田中 稲田壽子(夫進 九二)
二万円 小田倉 増田砂夫(母 ユキ 九四)
三万円 豊町 村田經敏(義母 寺崎カヲル 八八)
十万円 田中 稲田壽子(夫進 九二)
三万円 小陣 荒武セイ(夫満衛 八七)
三万円 小陣 荒武セイ(夫満衛 八七)
三万円 小陣 荒武セイ(夫満衛 八七)

うぶ声



出生児 池ノ上美咲 保護者 茂美 春日団地
藏原 昂平 洋一郎 原ノ門
伊藤 有紀 勝博 原ノ門
永山 遥 克之 中福良後
宮園 浩樹 幸男 蔵王団地
南 由紀子 賢二郎 原ノ門

二万円 提水流 西森健一(母ハツエ 七五)
七万円 小陣 荒武セイ(夫満衛 八七)
五万円 中野 前原清則(母キノ 三三)
五万円 楠園 今西正廣(母國子 六四)
五万円 溝辺町 遠矢義一(父甫 八六)
十万円 西諏訪 富永美子(夫實 六三)
三万円 小田倉 増田砂夫(母ユキ 九四)
五万円 桑迫 今村テル子(夫直行 七三)
三万円 石野 前田正男(母キミ 八四)
二万円 蔵王団地 木場文雄(母崎川サミ 七六)
五万円 楠園 下楠園和子(母トモ 三三)
五万円 楠園 下楠園和子(母トモ 三三)

中山 雅也 春喜
服部 賢将 篤二
橋口 和子 淳二
松崎 健太 誠
安田 圭佑 正実
岩崎 美香 晋貴
吉村 優 悟
泊 詩織 孝二
七村 将弥 浩一
岡本 裕太 誠
瀬戸口有紀 学
森永 崇史 幸二
福永 麻衣 和則
松田伽那子 賢一郎
南ノ園和哉 昇
▽四月二十日までに住民台帳に記載された分を掲載いたしました。

迫下 米澤久男(妻ミネ 六六)
十万円 永原 内村敏幸(妻スミエ 七五)
五万円 豊町 村田經敏(義母 寺崎カヲル 八八)
三万円 下新道 森永美智子(父福山時雄 八三)
三万円 里ノ下 吉村トキ子(夫昌輝 六六)
二万円 高井田 福山俊典(妻美代子 五七)
一万円 西諏訪 是枝力男(母園子 七九)
二十万円 田中 稲田壽子(夫進 九二)
▽四月二十日までの御寄付を掲載いたしました。(年齢は満年齢)

平成6年 6月在宅医表

5	壱岐医院	内科 溝辺町有川812 ☎59-2019
12	徳永医院	内科 溝辺町有川231 ☎59-2823
19	鬼丸小児科	小児科 加治木町新生町127 ☎62-0308
26	松本外科	外科・胃腸科 加治木町木田724 ☎63-1911
※診療時間は午前9時から午後5時まで。(原則として) ※当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。		
日曜・祝日 歯科救急診療 10時~15時 郡歯科医師会館 口腔保健センター (0995-58-4388・溝辺町空港近く)		

東京消防庁消防官採用試験

一、採用予定人員 約百人

二、試験日(鹿児島)

第一次 9月20日(火)

第二次 11月10日(木)

(試験会場は、郵送される受験票に記載)

三、受験資格

●昭和40年4月2日から昭和52年4月1日までに生まれた男子

●大学卒業者(平成7年卒業見込みを含む)は受験できません。また日本国籍を有しない者及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当する者は受験できません。

四、申込期間

郵送 7月1日~31日まで

〒東京都千代田区

3階「城選手の記事」中

弟、妹 ↓ 第二人

敬称略

記事訂正とおわび

四月号の記事中誤りがありました。深くおわびし訂正します。

た。深くおわびし訂正します。

た。深くおわびし訂正します。

た。深くおわびし訂正します。

た。深くおわびし訂正します。